

()年()組 ()番 名前() 記入日

	学級担任	学年職員等 (学年主任、副担任、教科担任、部活動顧問など)	関係職員 (教育相談担当、生徒指導担当、特別支援教育担当、 養護教諭、相談員、SC、SSWなど)	管理職
休業前	意識的に言葉かけを行い、本人の表情や受け答えを観察する 子どもの様子が普段と違うときは、関わる先生に相談する 教育相談を行い、気になることを話した場合は、以下の対応を参考にする		気になる子どもが保健室や相談室を利用した場合は、情報を共有する	学校の不登校支援の方針を確認する
	《子どもが気になることとその対応例》 ・宿題(課題) ... 宿題(課題)の量や期限などを一緒に考えていく ・友達関係 ... 本人の思いを十分に聴き、休業中も見守っていくことを伝える ・部活動 ... 本人の思いを十分に聴き、部活動の顧問とそのことを共有する		教育相談担当は、保護者に対して相談機関やカウンセリングを案内する	教育相談部会や生徒指導部会等で、気になる子どもと保護者の状況の情報共有を図る
	学年主任は、学級担任と保護者との関係を把握し、必要に応じて電話連絡や家庭訪問を行う		夏季休業中の支援方針について全職員で共通理解を図る	
休業中	登校日や部活動等で、子どもと話す機会を設ける 子どもと会えない場合は、電話連絡や家庭訪問で保護者に様子を尋ねる		教育相談、生徒指導、特別支援教育の各担当は学校の方針に沿って連携する	支援の役割がうまく機能しているかを確認する
	学級担任が子どもと会えない場合は、必要に応じて家庭訪問等を実施する			学級担任や関係職員に過度な負担がないかを確認する
	《子どもが気になることとその対応例》 ・宿題(課題) ... 進行状況を確認し、学校でも支援ができることを伝える ・友達関係 ... 本人の思いを十分に聴き、休業中も見守っていくことを伝える		教育相談、生徒指導、特別支援教育の各担当は、不登校への対応について、事例検討会などの校内研修を企画・運営する	
	[部活動] 休んだ場合は学級担任に連絡する 連絡がなく休んだ際は、家庭に連絡し、様子を尋ねる必要に応じて、(学級担任とともに)家庭訪問を行う			
	ケース会議を実施する ・子どもの今の状況について情報を共有する ・本人と保護者に対する支援策と支援者の決定をする			
	夏季休業明け直前に、家庭訪問又は家庭への連絡を行う			
休業後	【登校できた場合】 子どもを励ます言葉かけを行う 学校での様子を保護者に伝える		子どもの登校状況や学校での様子を把握する 担任と情報共有を行う	
	【初日に欠席した場合】 電話連絡を行う 家庭での様子で気になることがある場合は、家庭訪問を行う		校内の協力体制をつくり、職員をチームとしてつなぐ 支援を迅速に提案する	
	【欠席が2日以上続く場合】 子どもに対する支援策を組織的に検討する 同じ学年の職員・学年主任 教育相談担当、生徒指導担当 管理職に相談する ケース会議(SC、SSW、養護教諭などを含む)を開く		必要に応じて、関係機関との連携について提案する	関係機関と連携を行うか決定する